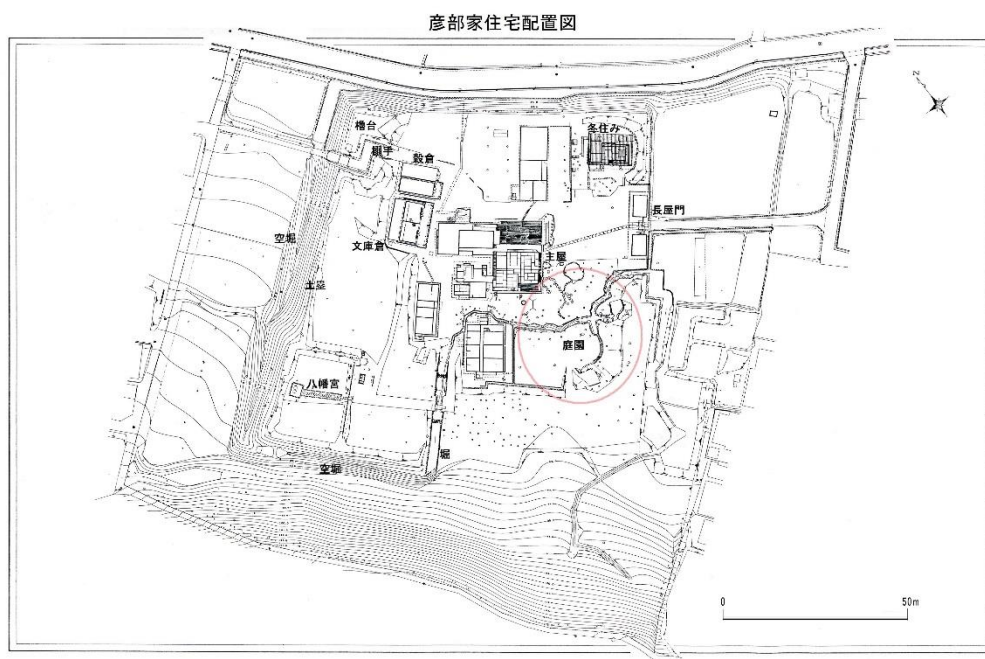


庭園

屋敷西の竹ヶ岡より湧き出ている細流を巧みに導き入れ、石橋、池、巨石を配した池泉回遊様式で、室町時代の公家文化の一端を伝えている。

※池泉回遊様式とは、自然の山や川さらに池を取り入れた庭で、順路を定めて歩きながら観賞する庭園をいう。



庭園（主屋前より庭園西）



旧寄宿舍裏より（奥は主屋）



庭園奥のもみじ



長屋門裏より庭園



竹ヶ岡の細流



竹ヶ岡の細流（右奥は神橋）